# ヘブライの宝もの

## ランデルマン真樹 著

イスラエルで学び、ヘブライ語で聖書を読むことによって著者に与えられた「宝もの」とは？　ヘブライ語の単語を60個取り上げ、その原意や用法を探りながら、みことばの真意や、みことばに込められた神のみこころを思い巡らす。賛美に満ちあふれた原典入門。

【いのちのことば社 協力出版】

B6判 368頁 定価2,640円（本体2,400円＋税）
ISBN978-4-264-04299-0 C0016
いのちのことば社発売　卸コード 802024

著者プロフィール　ランデルマン真樹（Randelman Maki）
1975年、旭川福音教会牧師、木林晃一郎・節子夫妻の間に生まれ、4人姉妹の三女として育つ。元英語教師であった父の言語に対する興味と旧約聖書の原語であるヘブライ語を学びたいとする父の夢に影響を受け、高校卒業後イスラエルへ留学。1998年にヘブライ大学聖書学科及び古代中近東学科を卒業し、聖書学修士科専攻中の2000年にメシアニック集会牧師ツヴィ・ランデルマン牧師の長男である夫デイヴィッドと結婚。ソフトウエア開発の会社に12年勤め、2012年に家族と共に合衆国ミズーリ州のセントルイスへ移住し、今日に至る。